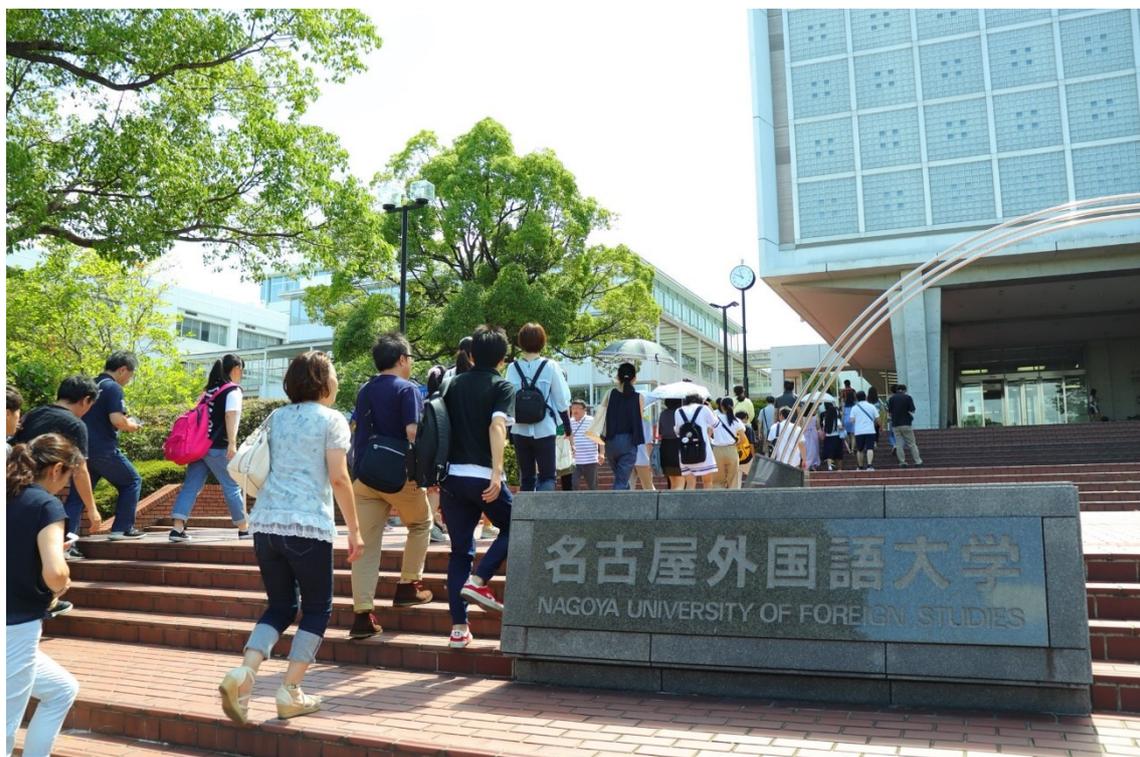


【日本の大学】第85回—名古屋外国語大学：少人数教育で真の国際人を育成

名古屋外国語大学は、中部地方の大都市名古屋市の東に隣接する愛知県日進市に本部を置く私立の外国語大学である。「人間教育」と「実学」を建学の精神とし、世界で活躍のできる人材の育成を目指している。現在は、大学院の1研究科、4学部9学科、留学生別科を擁する総合的な外国語大学となっている。

学生4人に対し、ネイティブ教員1人の少人数授業を全学科開講するなど、本物の語学力を修得するため特色のある教育を採用し、真の国際人を目指すプログラムを実行している。また、世界各地から400人以上の外国人教員や留学生がキャンパスに集っており、「留学」、「学び」、「ネイティブスピーカー」などがそろった国際局色豊かな教育の場となっている。



図書館前の校名入りの石碑

中部圏唯一の外国語大学

以下、名古屋外国語大学のホームページなどから大学の現況を見てみよう。

大学の設置者は学校法人中西学園である。学園は現在、名古屋外国語大学のほかに、名古

屋学芸大学、名古屋ファッション専門学校など、大学、専門学校、幼稚園の計6校を運営している。起源は、1945年に設立されたすみれ洋裁学院であり、1951年には学校法人中西学園となった。その後、いくつかの大学や専門学校を開校した後、1988年4月に中部圏唯一の外国語大学として、名古屋外国語大学を開校している。

名古屋外国語大学のスタートは、外国語学部の英米語学科、フランス語学科、中国語学科の1学部3学科だった。1994年には、国際経営学部を開設（2012年に廃止）、97年には大学院の国際コミュニケーション研究科が開設された。1999年には大学院の博士課程（後期）が開設されている。2001年には、留学生別科が設置され、さらに04年には現代国際学部が、現代英語学科と国際ビジネス学科（2018年にグローバルビジネス学科に変更）の2学科で始まった。



コミュニケーションプラザ

外国語学部は、その後、1999年に日本語学科、2008年に英語教育学科、2015年に世界教養学科と次々に新学科を誕生させた。これらの新学科は2019年に新たな学部へ衣替えしている。即ち、日本語学科は、世界教養学部の国際日本学科に改組となり、世界教養学科も世界教養学部の1学科へ変更された。英語教育学科は、英米語学科の中の英語教育専攻に再編されている。

この結果、現在、学部は外国語学部（英米語学科、フランス語学科、中国語学科の3学科）、現代国際学部（グローバルビジネス学科、現代英語学科、国際教養学科の3学科）、世界共生学部（世界共生学科の1学科）、世界教養学部（世界教養学科、国際日本学科の2学科）という4学部があり、別に留学生別科を設けている。また、大学院は国際コミュニケーション研究科の国際コミュニケーション専攻（博士前期課程、博士後期課程）からなっている。

外国語学部は、世界の言語と文化をアカデミックなアプローチで探求する。専攻する言語圏の言語・文学・文化・社会などを学術的に学び、異なる文化的な背景を持つ人々の考え方や行動形式について深く掘り下げる。専攻言語だけでなく、複数の言語を学ぶことで複眼的な視野を獲得し、言語運用能力と対人能力に優れたグローバル人材を育成していく。

海外研修、長期留学を重視

英米語学科では、海外研修を実施して、高度な外国語運用力を備えるための「専攻言語プログラム」や「英語基幹プログラム」「複言語プログラム」を用意している。さらに英米語文化圏の言語、文学、文化、社会などについて学びながら、異なる文化的背景を持つ人々の考え方や行動様式についてより深く掘り下げて考えることができ、めまぐるしく変化する情報化社会に柔軟に対応できる実践的な英語能力を身につけることを目指して長期留学制度も置かれている。また、2019年の再編によって、英語学、英語コミュニケーション学、英語教育学の3分野を統合的に学ぶことができる学科となった。

フランス語学科は、多くの学生が入学してから初めて触れる人が多い言語であるため、1年次では日本人教員が日本語でわかりやすく文法を解説する「入門フランス語」や外国人教員の授業でそれらを実際に使って会話する「実用フランス語」など、繰り返しの中で日常会話力を身につけていく。2年次からは“超”少人数授業もスタートし、様々なシチュエーションを想定しながらファッション、芸術、食文化などをテーマに、実践的な会話を展開する。3年次には、その内容をグレードアップさせ、語学力以外にビジネスや時事問題をテーマにした授業を実施し、より専門的かつ実践的なフランス語を学ぶ。そのうえで専門ゼミナールでの議論や海外留学を経験することで、異文化や社会問題に対する意識が向上し、帰国後には「移民問題」や「フランス経済」「ショービジネス」「EU事情」などにスポットを当てた深い考察を卒業論文にまとめていく。



Language Lounge

中国語学科では、まず1, 2年次で発音の基本を中心に中国人教員が徹底的にトレーニングする。2年次からは“超”少人数授業で、さらに正しくきれいな発音の習得を目指す。「聞く」「読む」「書く」能力も併せて向上させる。教材には、中国のWebサイトや新聞記事、広告、映画、小説などを使用し、そこからリアルな中国人の価値観や生活習慣・商習慣などを感じ取りながら、中国社会への理解も深め、最終的には、単なる語学学習では到達できない「会話力」「読解力」「文章力」を習得する。

2004年に誕生した現代国際学部では、国際感覚に優れた人材、いわゆるグローバル人材の育成を図る。「英語を話せる」というだけでなく、高度な英語運用能力に加え、世界情勢や各国の関係性、文化や商習慣などの知識を幅広く持ち、「考える力」や「課題を発見し、問題を解決する力」を習得する人材を育てる。

現代国際学部では、現代英語学科とグローバルビジネス学科に加えて、2013年には国際教養学科が開設された。同学科は、世界共通語としての英語を基盤に、グローバルな視野で物事をきちんと理解し、正しい対応ができ、世界の人々とホスピタリティ精神をもって接することができる人材を育てていく。それを身につけることで「国際社会を生き抜く力」を手にすることができる。航空業界をはじめ、あらゆるサービス業界や、マスコミ・ジャーナリズムの世界、国際機関を含めたグローバルな舞台で活躍できる力を身につけていく。



オープンキャンパス

世界共生目指す新学部も

世界共生学部が開設されたのは2017年である。学部では、複数の言語と地域を選んで学び、共生に関する学問的知識を多角的に習得、世界各地の人々と絆を結び、多文化共生時代における国内外の問題解決のために行動できる「アクティブでグローバルな人」を育てる。

「複言語プログラム」を採用し、専攻言語である英語のほか、英語以外の言語を習得する。学科独自の「リージョナルスタディーズ」で、世界六つの地域から複数の地域を学び、世界の今を正確に理解する力を磨く。

4番目の学部として誕生した世界教養学部では、「新世代のグローバル人材」の育成を理念に掲げている。「世界教養学科」と「国際日本学科」の2学科を設置。「世界教養学科」は軸足を“世界”に、国際日本語学科は軸足を“日本”に置きながら、世界と日本を双方向に学び、世界の知見を日本に還元、日本の魅力を世界に発信できる人材を育成する。



毎年大人気の「留学イベント」

世界教養学科は、世界共通語である「英語」を基盤として「英語基幹プログラム」「専攻言語プログラム」「複言語プログラム」を通して、英語と複言語による高い言語運用能力の強化を図る。世界諸地域の文化、社会・経済、歴史に関する基礎的及び専門的知識とその日

本への還元力を、「世界教養プログラム」や「世界教養ブリッジ科目」、さらに「ワールドスタディーズコース」「グローバルスタディーズコース」双方のコース科目などで総合的に習得させ、国や世代を超えて通用する「グローバル人材」を育成する。

「国際日本学科」は、軸足を日本に置きながら、日本と世界に関する豊かな教養を身につけ、世界の知見を学び、日本の魅力を世界に発信できる人材を育成する。他者に対する共感力や、高度な言語能力を駆使したプレゼンテーション能力、より良い人間関係を構築する対話力を身につけ、日本と世界の平和的共生に貢献できる力を備えていく。

加速化する国際教育のニーズに対応して、大学では学生の海外派遣プログラムを幅広く支援するとともに、外国人留学生の受け入れを積極的に行うことで、異文化理解の促進や、キャンパスのグローバル化を推進している。

外国人留学生向けに 2001 年にできた留学生別科は国際日本語教育インスティテュートと呼ばれている。学期区分は 4 月または 9 月からスタートする。4 月上旬～7 月下旬の春学期と 9 月中旬～12 月中旬の秋学期の 2 学期制をとっている。1 学期間、または 2 学期間在籍することができる。留学生ビザの要件を満たすために、1 学期に最低 14 単位（7 コマ）を履修することが義務付けられている。内容は、グローバルジャパンプログラムであり、日本語コースとグローバルジャパNSTAディーズコース、それに単位の認定を伴わない様々な文化実習から構成されている。



留学生たちの生活拠点となる学生寮「NUFS グローバルビレッジ」

海外の大学との交流協定に関しては、30 の国・地域の 187 校の大学（および機構）と提携をしている。外国人留学生に対しては、入国前、到着後、在学中の手続きなど全般にわたって大学の国際交流部国際交流課が対応してくれる。

専任の教員数は 148 名（うち女性 58 名）。学生数は大学院生 44 名を含めて 4572 名である。（2022 年 5 月現在）

学長は亀山郁夫氏である。東京外国語大学外国語学部ロシア語学科卒。同大学院修士課程修了。同大学院人文科学研究科博士課程単位取得。1990 年東京外国語大学助教授、93 年同教授、2007 年から 2013 年まで東京外国語大学学長。2013 年 4 月から名古屋外国語大学学長。専門はロシア文学・ロシア文化論。日本芸術院会員。

日文：滝川 進

写真：名古屋外国語大学 H P & Twitter